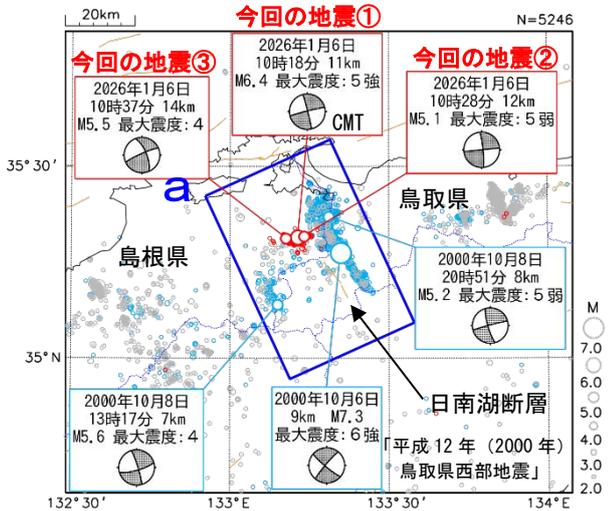


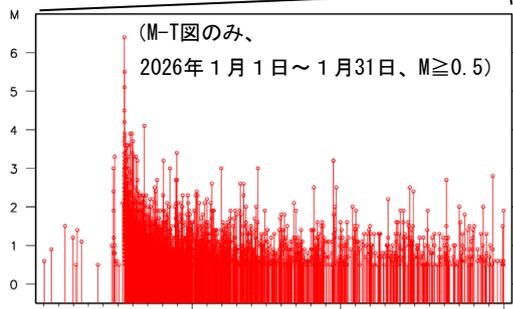
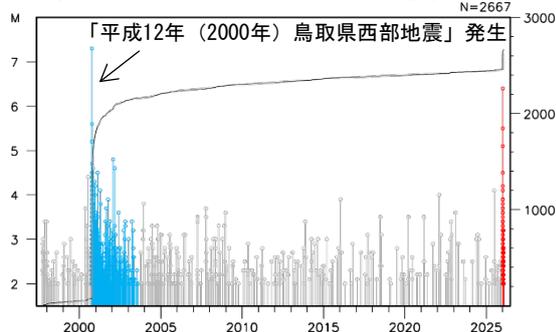
# 1月6日 島根県東部の地震

**震央分布図**  
 (1997年10月1日～2026年1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2000年10月～2003年9月の地震を**水色**、  
 2026年1月の地震を**赤色**、  
 上記以外の期間の地震を**灰色**で表示

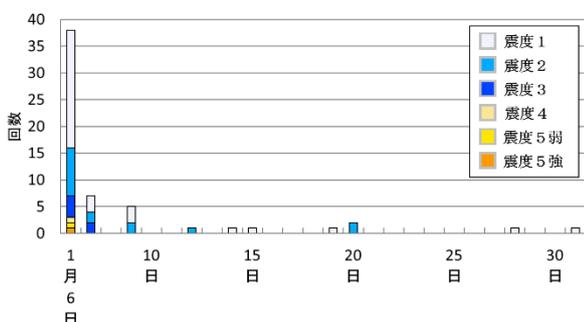


震央分布図中の**橙色**の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図及び回数積算図



最大震度別地震回数 (日別)  
 (2026年1月6日～1月31日、震度1以上)



2026年1月6日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震（最大震度5強、図中①）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、5日16時43分にM3.0の地震（最大震度1）及び同日18時42分にM3.3の地震（最大震度2）が発生した。また、M6.4の地震発生後には、6日10時28分にM5.1の地震（最大震度5弱、図中②）及び同日10時37分にM5.5の地震（最大震度4、図中③）が発生するなど、M5.0を超える地震が発生した。6日から31日までに震度1以上を観測した地震が58回（震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：16回、震度1：33回）発生した。この地震により、負傷者15人、住家一部破損114棟の被害が生じた（被害は2026年1月14日17時00分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年9月10日に発生したM7.2の地震（鳥取地震、最大震度6）では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

**震央分布図**  
 (1919年1月1日～2026年1月31日、  
 深さ0～30km、 $M \geq 5.0$ )  
 2026年1月の地震を**赤色**で表示



領域b内のM-T図

